

答申文化財の概要

●奈良文化財研究所飛鳥資料館本館 明日香村 昭和49年

明日香村北部にある文化財展示施設。設計は谷口吉郎^{注1)}。長大な切妻造の東西棟は、白色の外壁に格子窓を整然と並べ、周囲に高欄^{注2)}付きの縁を廻らす。洗練された和風の外観が飛鳥地域の歴史的な景観と巧みに調和する谷口晩期の作品。



奈良文化財研究所飛鳥資料館本館全景



本館1階南棟第1展示室

提供：奈良文化財研究所

●奈良文化財研究所飛鳥資料館売札所 桜井市 昭和50年/昭和52年改修

資料館の正門東脇に建つ売札所。設計は谷口吉郎。鉄筋コンクリート造平屋建切妻造、檼瓦葺の南北棟で、正面となる南妻は売札口の庇を兼ね蟬羽^{注3)}を深くして切妻屋根を強調する。本館と共通する均整の取れた端正な外観で、本館と一体となって歴史的景観に寄与する。



奈良文化財研究所飛鳥資料館売札所



売札所売札室

提供：奈良文化財研究所

- 注1) ^{たにぐちよしろう}谷口吉郎「昭和期の建築家。代表作は東宮御所、東京国立博物館東洋館等。
登録有形文化財（建造物）では旧石川県繊維会館、東京工業大学七〇周年記念講堂、
良寛記念館展示棟等。」
- 注2) ^{こうらん}高欄 建物の縁まわり等に設けられる工作物。
- 注3) ^{けらば}螻羽 切妻屋根の妻側の端部。